

## 山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

|   |  |  |
|---|--|--|
| 山 域・山 名： 五色ヶ原 (2,500m)                      |  | 富山県富山市五色ヶ原)  |
| 入山日：平成30年9月21-23日 (金-日) 2泊3日 帰宅予定日：9月23日    |  |  |
| プラン担当者 正： 鈴木 副：                             |  | 五色ヶ原と小屋 (遠景は右から薬師、黒部五郎、笠)  |
| 参<br>加<br>者                                 | L：報：記： 鈴木  |  |
|   | 男 1名、女 名、計 1名  |  |
| 天候：9/21 雨時々曇り<br>9/22 雨 11時頃から晴れ<br>9/23 快晴 |  |  |
| 9月20日<br>(木)                                | 集合時間： 午後22：45 集合場所： 新宿駅西口：都庁前地下駐車場<br>23：00 新宿発毎日アルペン号夜行バスにて扇沢へ向かう。  |  |
| 9月21日<br>(金)                                | 04：40 扇沢着 07：30 発トロリーバスで黒四ダムへ、08：00 山行開始 —<br>08：30 ロッジ黒四— 11：40 平の小屋着 (小屋泊)<br>12：00 発の渡し船で往復乗船 (ただ乗るだけの利用は本来不可) 行動3h40   |  |
| 9月22日<br>(土)                                | 05：30 起床—09：00 発—12：50 五色ヶ原山荘着 (小屋泊) 周辺散策<br>行動3h50  |  |
| 9月23日<br>(日)                                | 03：40 起床 05：00 発—05：45 ザラ峠—06：30 獅子岳—07：45 龍王岳下—08：<br>30—の越—09：30 東—の越—11：00 黒部平着<br>ケーブルカーで黒四ダムへ、トロリーバスで扇沢へ戻り、バスで JR 長野駅経由<br>新幹線で大宮 行動6h00  |  |
| 荒天候時のエスケープルート： 小屋へ引き返すか小屋で待機、9/23は室堂から帰宅。   |  |  |
| 装<br>備<br>と<br>食<br>糧                       | 共同装備：ガス式、ツェルト 共同食：なし 車提供者：なし   |  |
|   | 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、医薬品<br>テルモス (水)、グローブ、スパッツ、ストック、帽子、カメラ<br>個人食：朝食×1、昼食×3、行動食  |  |
| 感<br>想                                      | 毎週末天候不良が続くが、せっかくの休暇含めた4連休はなかなかないため悪天覚悟で決行する。<br>9/21 想定内の雨だがそれほど強くなく止むときもあり、黒部湖に沿って樹林帯を一人静かに<br>歩く。小刻みなアップダウンや渡渉 (丸太橋あり) をしながら歩を進めると程なく平の小屋に到着、<br>泊り客は4名で私以外皆釣り目的。小屋主との釣談義に盛り上がる中で私一人門外漢は仕方なし。<br>9/22 朝から雨で朝食後うたた寝、急ぐ必要もないため9時に小屋を出る。11時頃から雲が<br>切れお日様が見え始めた。五色ヶ原に入るときは快晴となり、昨日からの鬱憤を晴らさんばかりの<br>眺望が目の前に飛び込んできた。小屋は悪天のためか昨日に続き8畳間の個室を独占、自炊場<br>では窓から悠然とした雄山を仰ぎ見ながらのこの上ない贅沢な食事をとることができた。<br>9/23 満天の星空の下、夜明け前に小屋を出る。東側が山で遮られたためご来光こそ仰げなかつた<br>が、星空が青空に変わる貴重な時間帯に北アルプスの名だたる名峰に囲まれながら歩く垂涎たるひ<br>とときを堪能する。登山終了の黒部平では異国語の観光客に圧倒されながら黒四ダム、扇沢を經由<br>しJR長野駅から新幹線で帰宅の途についた。 |  |